

OCADとコントローラ講習会

横田 実

平成 23 年 8 月 27-28 日 兵庫県三木市ホースランド

以前、准コントローラとしての資格は与えられたが、生かすことなく期限が切れてしまった。今回は、KOLA大会に行かすことも考えて受講。

まずはOCAD

1泊2日のコントローラ研修。講師は、JOA地図委員会の尾上俊雄氏。今回は、1日目の午前中に、OCADセミナーも行われ、13名が受講しました。内容は「プリンタの出力について」。特に、混色処理と透明化処理について学びました。



混色処理とは、文字通り色を混ぜること。通常の印刷をすると、後から印刷した物は前の色の上に完全にかぶさってしまうが、それでは地図情報が部分的に隠れてしまいます。それを防ぐために、色を混ぜたように見せて印刷する方法です。OCADでは「表示」→「特色表示」とすることでそれができます。

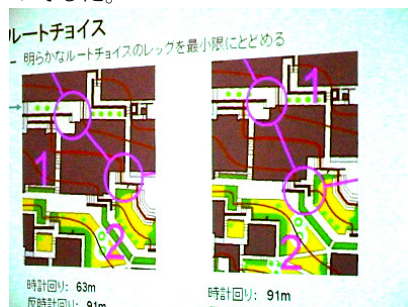
また、透明化処理というのは、コース印刷のパープル色を混色と同じように下の情報がわかるようにするためのもので、ドラフトモードにすることで実施されます。

意図的に、特別な色を処理しない場合もあるようですが、この2つは基本的なことですので覚えておきましょう。



コントローラ講習 1日目

午後からのコントローラ講習は19名が参加し、大阪府協会からは5名もの参加がありました。3年ごとの資格認定のための講習会。コントローラの資格取得以前に、いろいろな規則やガイドラインについて知るいい機会ですね。2日間、みっちりの講習は内容の濃いものでした。



基本的に、いろいろな説明を受けてそれについて班で討議して考える形式で講習が進められました。

コントローラの任務と各種規則とガイドラインについての説明と解釈の仕方。コース設定の考え方について。電子パンチシステムについてのエラーへの対処の考え方。実際に地図を使ってコース設定をする課題も出され、どのようなコースを組むか四苦八苦して楽しんでいました。

土砂降りの雨で館内の浸水騒ぎもありましたが、夕食をはさんでからも講義が続き、その勢いは夜更けまでビールとともに続けました。



コントローラ講習 2日目

2日目は、フィールドワークでの実習。実際に設置されたコントロールを、地図をもとに点検し、それをもとに討議して、何をチェックすべきかを再確認。設置位置の違い・隣接すぎるコントロール・番号違い・位置説明の不備・フラッグの設置不備・ユニットの起動不備…。いろいろなパターンがあって、結構楽しめました。



午後からは、提訴や裁定についての受け方や手続きについての話を受けて、更新者はここで終了。

資格認定者は、最後にしっかりとテストを受けて終わりました。



オリエンテーリング大会を開催するときには重要になるのは、参加者にとっていかに公平な大会にできるかが大切で、それを確認していくのがコントローラの役目だと改めて思い直しました。なかなか規定集などを読み直す機会がなかったので、いい機会でした。

(文責 横田実)